

青年持続農業者連盟 前号のRadix News Letterにおいてもご紹介しましたが、世話人代表はファーマーズクラブ赤とんぼの伊藤幸蔵さん。幹事生産者さんには、JA山武郡市有機部会、大牧農場、野菜くらぶ、無茶々園、トキワ養鶏などRadixの会員さんでもおなじみの方々がいっぱいいます。「技術もヒトもつながるように」と紹介させていただいている“若い衆カモン”をまさに形にしたようなこのネットワークについて、紹介します。

YSFL

(Youth Sustainable Farmers League)

Message

■なぜ若者のネットワークか

「組織の枠にとらわれない若者のネットワークづくり」をなぜ目指したのか、それは「赤とんぼ」のメンバーからの言葉がひとつのきっかけ。彼が住む地域には、若者は彼ひとり。あるとき幸蔵さんに、なんとか外の情報、とくに同年代の若者の情報を知る手立てはないだろうか？と相談されたのだそうです。農業を継ぐ彼らは、家族や地域内の諸先輩方からこれまでのやり方については聞くことができるけれども、いまこの時はどうなのか、どう変化しているのか、を知るのはなかなか難しい。また地域の組合などでは年功序列のことが多く、若い彼らがここを変えてみたい、新しく取り入れてみたい、といった提案が反映されにくいのも事実。

それならば、自分たちの提案を反映、挑戦できるような組織を作り、地域を超えた横のつながりを広げていこう、となったのです。

■長いスパンで活動を

「厳しい現状の中で農業者自身が的確に判断し進んでいくためにまず必要なのは、仲間を作り幅広い人たちから情報を入手すること。農家は5年や10年の単位で動いているわけではありません。長いスパンで、私たちの次の世代となる若い人たちをどんどん巻き込みながら、活動していきたいと思っています。」(YSFLホームページ代表挨拶より)

YSFLは、各々の所属する団体の方針にしばられることなく各人の考えていることを自由に発言、情報交換できるように個人としての参加を求めています。(事務局・島田)

連絡先・申込先:

青年持続農業者連盟事務局

FAX 03-5298-7803

Eメール ysfl@cside5.jp

ホームページ <http://ysfl.cside5.jp/>

■YSFL Q & A

(ホームページより)

Q. いつから始まったの？

A. 1999年11月からです。

Q. メンバーは何人いるの？

A. 第一期登録メンバーは70名です。

Q. 参加資格は？

A. YSFLの会員は農業者であることと、年齢が45歳位までです。但し賛助個人会員と賛助団体会員は年齢などの制限はなく、農業者以外でも受付けています。

Q. どんな活動をしてきたの？

A. 持続農業法制定後、個々で有機認証やISOの取り組みなどを行って来ました。

Q. 学生は参加できますか？

A. 賛助個人会員や学校や学部単位で法人会員に参加可能です。また会員対応以外で、学生に限り、HPの情報収集やイベント設営や講演会での議事録作成などボランティアでの支援を求めています。

Message

配送スタッフの『現場の声!』

ふたつの“R”ができること

Radicleの会大阪支部 (株)山里物流サービス編

肝付忠仁さん

配送担当地区:
大阪市・尼崎市・
吹田市・寝屋川市
好きならでいっしょ
商品:豆腐・卵・
いちご



■仲間人として

生産者の皆さん、いつもありがとうございます。僕たち配送スタッフは、食べる人と作る人双方の立場に立って荷物をお届けしています。野菜のことで誉められると、とてもうれしいし、クレームを言われると、とても悲しい。この思いは、生産者の皆様と同じだと思います。でも、食べる人の立

場にたってみると、それももっともかなと思うことがあります。「一緒のお野菜が毎週続くのは困るわー」大根にすが入ってたりすると、「外から見たり、触ったりしてわからんもんなん？」若い会員さんなどは、「虫がいやや！」などなど色々なことを言われますが、あるときは食べる人、またあるときは作る人の立場にたって日々配送をしています。僕のトークと笑顔で、これからもよいパイプ役としてがんばります。

■最初は最悪でした……

古くからおつき合いいただいている会員さんからよく聞くことは、「最初は最悪やったねー。それに引き換え今は見た目もきれいし、味も最高やねー。ほんまありがと

う!」と生産者さんのことをべたほめです。日々栽培の技術に切磋琢磨されているみなさんの結果が現れてきてるんですねー。僕が入ってもうすぐ丸3年ですが、会員歴の長い方々からは、教えてもらうことがいっぱいあって、とても勉強になります。

■時代は流れてるねー

最近のらでいっしょの会員さんには、「人参とトマトがおいしい」とか、「セロリはいらない」とか、「自分の好きなものだけを入れてほしい」という方が増えています。これはきっと、スーパーに行けばなんでも手に入ることが当たり前で、野菜の旬を知ることなかったからなのでしょう。らでいっしょの“畑におまかせ”が基本のパレット野菜などを通じ、もっと多くの人たちに、本当のおいしさをわかってもらうよう、これからもがんばりますので、生産者の皆様もお体に気をつけて、おいしいお野菜を作りつづけてください。